

自然学習講座

テーマ：生きものと自然の繋がりを知ろう！

日時：令和8年2月28日(土) 午後1時から3時まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：20人(小学5年生以上)

受付開始：令和8年1月22日(木)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和8年2月2日(月)までWeb・電話で受付。応募者より抽選。

※2月2日は休館日のため、お電話での受付が出来かねます。ご了承ください。

※ 野外で茂みに入っただけの観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。

※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。



なぜ今、環境の大切さが叫ばれているのか？生きものたちの繋がりと生き物多様性の「今」を学びます。

イベント・ガイドウォーク

フォトコンテスト作品展示

展示期間
令和8年1月15日(木)～
令和8年2月15日(日)

葛飾区内で撮影された、様々な生きものの作品を展示します。
葛飾区HPまたは来館者からの投票で、入選作品を決定します。



ガイドウォーク

1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス	水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)
バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。	金町駅南口→水元公園→金町駅南口	
	水元かわせみの里下車 徒歩1分	水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (i.e. Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和7年 12月20日

(通算第225号)



水元小合溜の生きもの:215

すがた な ごえ 姿も鳴き声も『アオイ』ハト

アオバト

ハト目 ハト科

全長 33cm

時期 冬(水元公園)



ぜんしん きみどり みどりいろ むかし みどり
全身ほぼ黄緑～緑色で、昔は緑
も『青』と表現していたため、
『緑鳩(あおばと)』と名付けら
れたと言われています。また、
はんしよくき がつごろ
繁殖期の6～9月頃には「ア～
オ、オア～オ」といった声でさ
えずるので、この鳴き声が由来
であると説もありません。

たいしよく いがい じゅじょう 体色は、意外と樹上になじんでる？

おも こうよう じゅりん せいそく じゅじょう き み しんめ た
主に広葉樹林に生息し、樹上で木の实や新芽を食べ
て生活しています。黄緑～緑色の体は明るく目立つ
ようにも見えますが、樹上では葉っぱに紛れて見え
づらく、またお尻から尾羽にかけての腹面は、まるで
木肌のような模様をしています。



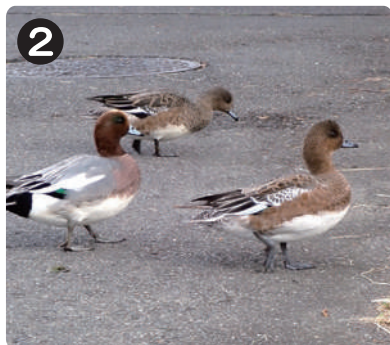
▲遠目に見れば木肌に見えそうな(?)アオバトのお尻

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



12/10 オオバン 水辺のふれあいルーム前の水辺で、マツモやアサザなどの水草を食べる姿がよく見られる。



12/3 ヒドリガモ 水元小合溜に冬鳥として飛来する。陸地の上って草をついばむこともあり、時に園路を横断する。



12/3 ナガカメムシの仲間 樹皮裏などの狭い隙間に隠れて越冬するカメムシ。この時はアキニシの樹皮裏にいた。



12/3 キハダカニグモ 主に樹皮裏の狭い隙間に隠れ、近づく虫を捕食する。アキニシなどの樹皮裏でよく見られる。



12/8 イセリアカイガラムシ 柑橘類などの木の枝につき、木の汁を吸う。白くのびているのは卵が入ったろう物質。



12/3 ムラサキツバメ 翅の表面に紫色の光沢があるシジミチョウの仲間。成虫で越冬し、晴れの日には稀に見られる。



12/11 サザンカ 冬～春先にかけて花を咲かせる。ツバキと似るが、本種は花弁が一枚一枚落ちる点で異なる。



12/3 ナンテン 冬に赤い果実をたわわに実らせ、冬の野鳥たちの食料となるほか、正月飾りなどにも利用される。



12/3 タチラクウショウの果実 『核果』という硬く丸い果実が特徴的。湿地を好み水元小合溜や水路沿いによく見られる。

● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「野生で起こるネコの狩り」のお話

今冬、水元かわせみの里ではオオバン(1)の群れがよく見られます。夏に繁茂したマツモなどの水草を食べに来たようで、水辺のふれあいルーム前の岩場の上って採食する様子も見られました。しかし先日、そんなオオバンを野良ネコ(イエネコの半野生化個体)が襲うという事件が起こりました。

イエネコは元々ネズミの食害から食糧を守るために日本に連れて来られた生きものです。本来、日本の自然環境には存在しない生きものですが、飼いきれなくなった飼育者が捨てたため、今や水元公園中で野良ネコが見られます。しかし、実はイエネコは『世界の侵略的外来種ワースト100』に選出されるほど、在来種に極めて強い影響力を持つ外来種として、注意が必要な生きものです。水元かわせみの里内でも過去、オオバン以外にシジュウカラが野良ネコに襲われ、命を落としたこともありました。

ネコは可愛らしく、癒しを与えてくれる存在で、公園内でも野良ネコを可愛がり、餌をやる人も多く見られます(水元公園のボランティア団体以外は禁止行為となります)。しかし、私たちの目の届かないところで野良ネコが自然に暮らす生きもの達にどのような影響を与えているのか、私たちはよく考えなければなりません。(小林)



ボランティア活動報告

カワセミ個体数一斉調査に参加しました！

12月7日(日)に、水元かわせみの里主催イベント『カワセミ個体数一斉調査』に参加し、市民の皆様と共に水元公園全域でカワセミの飛来を観察・記録しました。結果、少なくとも10羽のカワセミが確認され、今年も多く個体が水元公園を利用してきていることが判りました。



水辺でカワセミの飛来を観察し、トランシーバーで全体に報告・共有しながら記録を集めました。



調査当日に見られたカワセミ。水中に飛び込んで獲物を捕る姿も見られました。



市民の皆様やスタッフと合わせ、総勢73名での調査でした。皆様、ご協力ありがとうございました！

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 12月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

12月の見頃

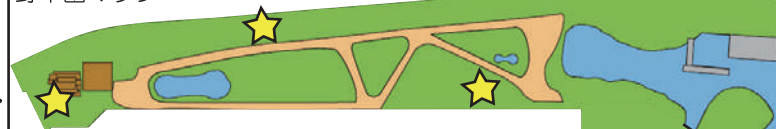
ツワブキ

初冬に黄色い花を咲かせるキク科の一種です。葉がフキの葉に似て、艶があることから『艶葉落(つやはぶき)』と呼ばれ、それがなまって『ツワブキ』となったとされています。

街路の植栽や庭などにもよく植えられ、暖かい日にはハエやアブなどが花粉や花蜜を求めて訪れます。



野草園マップ



見られるポイントはココ！